

## 令和7年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

多様な選択ができる教育課程、仲間とともに学ぶ主体的で充実した高校生活を通して、自らの「夢」にチャレンジする生徒を育て、希望する進路を実現するための確かな学力が身につく、「進学重視の総合学科」をめざす。

1. 主体的な進路選択を支えるガイダンスの充実と、夢チャレンジを具体化する教育活動の展開
2. とともに学び、ともに育つ学校生活の充実
3. 主体的・対話的で深い学びの実現と、確かな学力の育成

めざす生徒像

1. 自分の可能性を限定せず、つねに前向きなチャレンジ精神をもつ、主体的な行動力がある人
2. 広い視野と高い志をもち、目標に向かって粘り強く努力を重ねる人
3. さまざまな進路や夢、個性をもつ人とのコミュニケーションを通じ、人を思いやり、人のために行動できる 豊かな心を持つ人

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力の育成と授業改善

## (1) 授業の充実と授業改善

ア 教員相互の授業公開や研究協議、授業アンケート結果の検証等を通じ、すべての教科・科目等で問題発見・解決能力・論理的思考力を育む探究的な学びの充実に取り組むとともに1人1台端末等ICTを日常的・積極的に活用する授業改善に取り組む。

※ 授業アンケートにおける教材活用満足度をR9年度も90%以上とする。(R4:91%、R5:90%、R6:90%)

※ 生徒の「学校教育自己診断」における「生徒1人1台端末を効果的に活用するなど工夫している」をR9年度も90%以上。(R4:84%、R5:93%、R6:94%)

## (2) 自分の意見をまとめ、相手に自分の考えを伝える能力の向上

ア 「総合的な探究の時間」の充実を図る。

※ 総合学科アンケートにおける「コミュニケーション能力が身についた」をR9年度も85%以上とする。(R4:78%、R5:79%、R6:91%)

## (3) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養

ア 授業充実による学力向上を基本に、講習、補習等で「学力生活実態調査」の再点検を行うなど、基礎学力を定着させ、進路実現に向け最後まで頑張り続ける意欲・姿勢を高めさせる。

※ 「学力生活実態調査」(1、2年)におけるGTZの1年B3、2年B3をR9年度には共にB2とする。(R4:[B3、C1]、R5:[B2、B3]、R6:[B3、B3])

## イ 夏季休業中の講習の参加や「進路CAFE」等の利用を促進し、自ら学ぶ意欲を高める。

※ 生徒の「学校教育自己診断」における「授業内容が分からない時、理解できるよう行動した」をR9年度に93%以上とする。(R4:93%、R5:92%、R6:92%)

## 2 安全で安心な学校づくり

## (1) 人権教育の推進(生徒一人ひとりがそれぞれの個性を尊重しあう集団づくりを行い、人権課題に主体的に対応できる力を育む)

ア 自立支援コースの充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」学校づくりを推進するとともに、府内の高等学校における支援教育力の向上に貢献する。

イ いじめの早期発見・対応、体罰防止など、生徒一人ひとりの人権を尊重する学校づくりを推進する。

## (2) 教員の人権意識の高揚

ア 校内人権研修を通じて自らの人権感覚を高め、人権侵害のない学校づくりをめざす。

※ 教員の「学校教育自己診断」における『人権教育の校内研修や学習会は充実している』をR9年度85%以上とする。(R4:75%、R5:85%、R6:85%)

## (3) 生徒の規範意識の醸成

ア 生徒指導、人権教育を両輪とした教員からの働きかけに加え、生徒自治会活動などを通じた生徒の取り組みも引き出し、安全安心な学習環境を維持する。

※ 生徒の「学校教育自己診断」における「生活指導上のルールを守っている」をR9年度95%以上とする。(R4:90%、R5:97%、R6:96%)

## (4) 通学路の安全確保、防災教育の充実と安全・安心な教育環境の確保

ア 行政とともに学校周囲の歩道整備を計画し、地域の理解・協力も得ながら完成をめざす。

## 3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成

## (1) キャリア教育の充実

ア 「総合的な探究の時間」「志学」等によるキャリア教育の充実、適切な教育課程の編成、多様な人材の活用や連携による魅力ある教育活動の展開を通して、夢や志を持って自己の可能性を広げ、粘り強くチャレンジする姿勢を育むとともに、自らの人生や新しい社会を切り拓く力を育成する。

※ 生徒の「学校教育自己診断」における「将来の進路や、生き方について考える機会がある」を、R9年度も90%以上とする。(R4:90%、R5:95%、R6:94%)

※ 総合学科アンケートにおける『夢チャレンジ』では、研究や発表など創意工夫ができる機会を持つことができた」をR9年度には80%以上とする。(R4:73%、R5:79%、R6:87%)

イ 保育所、病院、老人介護施設等へのインターンシップの充実を図り、それぞれの職業への理解を深める。

## (2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加

ア 「部活動に係る基本方針」に則り、部活動を充実・活性化すると同時に、魅力発信を強化し、入部率の回復、伸長を図る。

※ 部活動入部率をR9年度には70%とする。(R4:64%、R5:65%、R6:66%)

イ 学校行事等の生徒が自主運営する行事の活性化を図り、自己肯定感を高める。

※ 「体育祭」「文化祭」の満足度をR9年度ともに90%以上とする。(R4:[83、88]、R5:[92、93]、R6:[92、92])

※ 総合学科アンケートにおける「自分の考える力や自主性を伸ばすことができた」をR9年度も90%とする(R4:81%、R5:78%、R6:90%)

## (3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携

ア 部活動や授業において、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加する。

## 4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信

## (1) ホームページ、連絡網等の充実

ア 学校の情報をタイムリーに保護者・生徒に提供するとともに、地域社会に向けた効果的な広報活動の充実を図る。

※ HP、校長ブログ等の更新を頻繁に行うとともに、連絡網によるタイムリーな情報発信を行い、保護者の「学校教育自己診断」における情報提供満足度をR9年度も85%以上とする。(R4:82%、R5:85%、R6:85%)

## (2) 学校説明会の充実

ア 学校説明会、オープンスクール及び、ミニ見学会等の内容を、参加者のニーズに合うようアンケートを取り充実させる。

## (3) 緊急時の連絡手段の構築と活用

ア 緊急時等における生徒・保護者・教職員の連絡手段の活用を図る。

## (4) マーケティング×ブランディング×プロモーションの法則に基づき、魅力向上を図る。

ア 魅力ある講座・探究内容について能動的に改善を図る。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和7年12月実施分]	学校運営協議会からの意見															
<p>本総括は、令和7年度に実施された学校教育自己診断アンケートの結果に基づき、教員、保護者、および生徒の回答を集計し、前年度以前の結果との比較を通じて、学校運営および教育活動の現状をまとめたものである。</p> <p>I. 回答状況の概要</p> <table border="1" data-bbox="130 516 693 747"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>回収率</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>60.6 %</td> <td>40/66</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>36.1 %</td> <td>271/750</td> </tr> <tr> <td>生徒（全体）</td> <td>89.9 %</td> <td>674/750</td> </tr> <tr> <td>生徒（3年生）</td> <td>83 %</td> <td>191/230</td> </tr> </tbody> </table> <p>II. 教員アンケートの結果総括（回収率 60.6%）</p> <p>令和7年度の教員回答では、学校組織の機能と生徒指導体制に関して、前年度比で肯定率が大幅に向上した項目が多く見られた。</p> <p>1. 体制・機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に教育相談体制の整備が進んでおり、「教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教職員とも相談することができる」の肯定率が95.0%に達し、前年（84.3%）から大きく上昇した。</li> <li>学校運営の柱となる「校長のリーダーシップ」についても、肯定率が72.5%となり、前年（62.5%）から顕著に向上した。</li> </ul> <p>2. 活動と情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「教職員で日常的に話し合っている」の肯定率は80.0%で、前年（70.3%）を上回った。</li> <li>「教育活動に必要な情報について、生徒や保護者や地域への周知に努めている」も85.0%となり、情報発信の努力が認識されている。</li> </ul> <p>3. 課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている」の肯定率（67.5%）は、改善が見られたものの、他の項目と比較して依然として低い水準にある。</li> </ul> <p>III. 保護者アンケートの結果総括（回答率 36.1%）</p> <p>保護者からの肯定率は全体的に高い水準を維持しており、特に生徒指導や進路指導に対する信頼が高い。</p> <p>1. 教育内容への評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業内容に対する肯定的な評価が上昇し、「子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている」の肯定率は64.6%となり、前年（57.5%）より改善した。</li> <li>「生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を養おうとしている」の肯定率は90.4%に達し、学校の基本的な指導方針が支持されている。</li> </ul> <p>2. 指導・対応への信頼</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学校の生徒指導の方針に共感できる」（85.9%）、「進路や職業などについて適切な指導を行っている」（89.2%）、および「いじめについて真剣に対応してくれる」（84.5%）など、生徒指導や個別対応に関する項目は高い肯定率を維持している。</li> </ul> <p>3. 懸念点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学校の授業公開や行事に参加・見学したことがある」の肯定率が41.7%と、前年（68.2%）から大幅に低下した。保護者と学校との連携や教育活動への直接的な関与において、来年度以降の改善が必要な課題である。</li> </ul> <p>IV. 生徒アンケートの結果総括（生徒全体 回収率 89.9% / 3年生 83%）</p> <p>生徒からの回答は、自己肯定感、進路学習、および学校生活全般において、極めて高い満足度を示している。</p> <p>1. 相談体制の飛躍的改善:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「担任の先生以外にも、保健室や相談室などで気軽に相談できる先生がいる」の肯定率が74.7%となり、前年（57.5%）から大幅に改善した。これは、教員アンケートで確認された「教育相談体制の整備」が、生徒の実感としても効果を発揮していることを示唆する。</li> </ul> <p>2. 指導と進路学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学校生活について、先生の指導には納得できる」の肯定率が83.4%と前年（78.3%）を上回り、指導に対する納得度が高まった。</li> <li>進路や情報提供に関する肯定率（「進路や生き方について考える機会がある」92.6%、「進路や入試関係等の情報について知らせてくれる」93.7%）は、引き続き高い水準にある。</li> </ul> <p>3. 総合学科の評価（3年生）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年生の肯定率は非常に高く、「総合学科を選んでよかった」が96.9%、「自分は3年間、総合学科の学習に頑張ってきた」が94.8%と、学習への満足感と自己評価が高い。</li> <li>総合学科の取り組みを通じて「考える力や自主性」（90.6%）、「コミュニケーション能力」（91.1%）が身についたとする肯定的評価も9割を超えており、教育効果が強く認識されている。</li> </ul>	対象者	回収率	回答数	教員	60.6 %	40/66	保護者	36.1 %	271/750	生徒（全体）	89.9 %	674/750	生徒（3年生）	83 %	191/230	<p>第一回' 7月17日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■DX や ICT、 AI など社会に求められていること、子どもが社会で生きていくために必要なことが書かれているのではないかと。</li> <li>■堺東高校のやっている取り組みとしては、熱心さが感じられる。堺東高校以外の高校と比較しての取組状況はどうか。</li> <li>○校長 ソフト面としては、総合学科としての学校設定科目「映画英語」「スペイン語」など、やはり普通科とは違う部分において、堺東高校の強みがあるように思う。</li> <li>■スクール AI とはなにか</li> <li>○首席 生成 AI の有料版を教育カスタマイズしたものである。今年度は教員用に購入し、生成 AI のための勉強会を定期的に開催している。</li> <li>■授業の入り込みをさせてもらっているので、授業の様子がある程度見える。自立支援生も楽しみながらやっている、というのが印象的であった。</li> <li>■学校の取組みについて、学校説明会でのアナウンスの重要性が高まっている。どうプレゼンするかが大事であるように思う。入試について、 エントリーシートより面接のほうがよい、とは思う</li> <li>■「夢が見つかる、自分が見つかる。」のフレーズはとてもよい、と感じた。</li> </ul> <p>第二回' 11月21日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校長 本日、教育庁振興室長他指導主事が来校。AI の学校導入に向けた情報交換を実施。・教頭 昨日職会で、資料を作成するのに生成 AI を活用。新学習指導要領の論点整理を生成 AI で要約し、生成 AI で プレゼンテーションソフトでスライドを作成。</li> <li>■委員 AI を使って、思考を深めるよう指導しているが、ただ使っているだけなのが現状。使わない選択肢は今後ない。出てきたものに、自分の思考を入れてほしい。</li> <li>■委員 中学生は、公立どうせ割れるやろ？という認識特色ある学校が気になる。立地が近い高校を志望傾向。何を目的に志望するのか？特徴を直接発信する。打ち出しが私学より弱い。公立側の打ち出しが大切。</li> <li>■委員 高校に何かを強く求める生徒が減ってきている。塾や中学校の先生に堺東高校の特色を知ってもらうことが大切。</li> </ul> <p>第三回' 1月30日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校長</li> <li>・私学と比してハードウェア(トイレ等)の差は著しい。2026年度末までには、トイレの洋式化100%、食堂の冷暖房設置などハードウェアの充実を図る。本校の事業ではないが、本校前に歩道の新設が行われる予定。また HR 教室や廊下の美装化を再来年度以降に始める。</li> <li>・ソフトウェア面の魅力化として、NZ のヘンダーソン高校と姉妹校提携する予定。「どの力を育てるか」について「気が利く力」(観察・想像・行動)を育てる。</li> <li>・探究・DX・AI&amp;看護の充実・深化 探究(アントレプレナーシップ型探究の開始)・DX(情報Ⅱの開講)・AI(教育産業のスクール AI 導入)の深化、看護科において藍野短期大学に特別非常勤講師の提携を実施</li> <li>・生徒主導の広報戦略 文化祭と体育祭動画の作成を写真同好会に委託</li> </ul> <p>探究について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■委員長 成果発表、プレゼン発表などの機会を設ける体験をふやすとよいのではないかと。また最終結果を評価するだけでなく、中間発表やプロセスといった部分を重視したほうがよいとおもう。</li> <li>■委員 勤務校のとりくみとしても探究学習の充実をはかっている。これが進路実現に直結している。</li> <li>■委員 DX 化によって教師の業務負担軽減はできるのか。業務負担を軽減できるなら、それが理想であるし、その浮いた時間を使って生徒の直接ふれる時間をとってほしい</li> <li>■委員 サポートスタッフとしても、堺東高校に来てい</li> </ul>
対象者	回収率	回答数														
教員	60.6 %	40/66														
保護者	36.1 %	271/750														
生徒（全体）	89.9 %	674/750														
生徒（3年生）	83 %	191/230														

## 府立堺東高等学校

<p>V. 令和7年度の総括と今後の重点事項</p> <p>令和7年度の学校教育自己診断の結果は、教員が中心となって進めてきた学校の組織体制の改善、特に相談体制の強化が、生徒の満足度の向上という形で明確に現れた一年であった。</p> <p>1. 主要な成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員間の日常的な話し合いの促進と、校長によるリーダーシップの発揮が、体制面での大きな改善をもたらした。</li> <li>・生徒にとっての相談しやすい環境整備が飛躍的に進み、教育効果として結実している。</li> <li>・総合学科教育においては、進路選択と自己成長への強い肯定感が維持されており、プログラムの有効性が高い。</li> </ul> <p>2. 今後の重点事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の参加促進・保護者の学校行事等への参加率が大幅に低下しており、学校と家庭・地域との連携を再構築し、学校への参画機会を増やす工夫が必要である。</li> <li>・計画と評価の連動強化・教員アンケートで肯定率が低かった「教育活動全般にわたる評価を次年度計画に生かす」点(67.5%)について、評価活動の具体化とPDCAサイクルの徹底が求められる。</li> </ul>	<p>るが、生徒はのびのびと楽しく通っていると感じる。支援学級のあたたかいサポートをつづけてほしい</p> <p>■委員 クラブ活動の活性化、増えるようなPRをおこなってほしい</p> <p>委員 同窓会幹事として、堺東高校から教員を目指す人がふえれば嬉しく思う</p> <p>■委員 公立高校それぞれ「色」を出していく必要があるように思う</p> <p>■委員長 探究+DX with AIを実施し、ブランディングに成功してほしいと思う。また、2年次の発表テーマを見たが、AIに探究テーマをもとにキーワードの抽出を行えば、生徒の意識・傾向・ニーズ等が可視化できると思うので、ぜひやってほしい。</p>
---	---

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R6年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成と授業改善	<p>(1) 「主体的、対話的で深い学び」、問題発見・解決能力・論理的思考力の育成、ICTを活用した授業改善</p> <p>(2) 相手に自分の考えを伝える能力の向上</p> <p>(3) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養</p>	<p>(1) ア・教員相互に資質を高め合う授業公開や研究協議、教材開発、授業アンケート結果の検証等を通じて、「主体的・対話的で深い学び」のある授業、問題発見・解決能力・論理的思考力を育む探究的な学びの充実に取り組むとともに、1人1台端末等を日常的・積極的に活用する授業改善に取り組む。</p> <p>(2) ア・授業、集会において自分の考えを発表したり、意見を聞いたりする機会を設ける。 イ・SDGs(持続可能な開発目標)の視点も踏まえた「総合的な探究の時間」において、自分の考えを伝え、国際的な視野にたてるグローバル人材の育成をめざす。</p> <p>(3) ア・授業充実による学力向上を基本に、講習、補習等で「学力生活実態調査」の再点検を行うなど、基礎学力を定着させ、進路実現に向け最後まで頑張り続ける意欲・姿勢を高めさせる イ・キャリア教育「夢チャレンジ」や教科指導等のあらゆる教育活動を通じて、学習に向かう態度を育むとともに、夏季休業中の講習等に自ら参加する姿勢を育てる。</p>	<p>(1) ア・授業アンケートの「教材活用」における肯定的評価90%以上[90%] ・学校教育自己診断における「1人1台端末を効果的に活用するなど工夫している」の肯定率90%以上[94%]</p> <p>(2) ア、イ ・「産業社会と人間・総合的な探究の時間」においてグループ・個人でのプレゼンテーション、クラス・学年での発表会を、各期(前・後期)で開催する。 ・総合学科アンケートの「コミュニケーション能力が身についた」肯定率90%以上[91%]</p> <p>(3) ア・「ガシドリ」の実施等による基礎学力の定着を図り、「学力生活実態調査」1,2年におけるGTZをどちらからかB2とする。[B3,B3] イ・学校教育自己診断の「授業は理解できた」肯定率79%を維持[79%] ・学校教育自己診断の「授業内容が分からない時、理解できるよう行動した」肯定率92%を維持[92%]</p>	<p>(1) ア・前・後期にそれぞれ1週間の授業公開を実施するとともに、全教員参加の研究授業・研究協議を行い、教員相互で研修を行った。授業アンケート「教材活用」肯定率は86%であった。(○) ・学校教育自己診断「授業の工夫」の肯定率は93%であった。(○)</p> <p>(2) ア、イ ・総合的な探究の時間「夢チャレンジ」、「産業社会と人間」、「特別活動」等を通じ、夢の追求、共生、SDGs等の学びと取組み、課題研究へと切れ目のない学びと成長の過程を経て、自らの意見をプレゼンテーションできる力を育みつつ、キャリア教育を展開している。(○) ・総合学科アンケート「コミュニケーション能力が身についた」の肯定率は91%であった。(○)</p> <p>(3) ア・日常の課題に加え、夏休み前の「ガシドリ」の実施により、基礎学力の底上げ・定着を図った。今年度第2回の「学力生活実態調査」における1,2年GTZは昨年同様(B3、B3)にとどまった。(△) イ・(調査項目を「授業に関する意識調査と合併」)「授業は理解できた」の肯定率が、86%であり、向上(◎) 同調査の「授業内容が分からない時、理解できるよう行動した」肯定率89%(○)</p>
	<p>(1) 人権教育の推進 ア「ともに学び、ともに育つ」教育のさらなる推進</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒の授業交流の機会を保障するとともに支援学校との交流の継続実施 ・障がい者理解、SNSなどの人権学習をはじめ、あらゆる教育活動において人権・多様性を尊重する教育を推進し、自他の違いを</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒の交流授業を6教科で実施し、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する。[6教科] ・支援学校との交流を2回実</p>	<p>(1) ア・理科・社会・保健体育・芸術・家庭・情報の6教科の授業で「自立支援コース」生徒が原学級でともに学ぶとともに、総合的な探究の時間、HR活動、学校行事等でともに学ぶ機会を創出している。(○) ・7月および12月に堺支援学校高等部3</p>

## 府立堺東高等学校

<p>2 安全で安心な学校づくり</p>	<p>イ いじめ防止</p> <p>ウ 仲間づくり</p> <p>エ 自立支援コースの成果の府内での共有</p> <p>(2) 教員の人権感覚や人権意識の高揚 ア 人権研修の充実 イ 教育相談体制の充実</p>	<p>認め権利を尊重し、人権課題に主体的に対応できる力を育む。</p> <p>イ・いじめはどこにでも起こりうることを認識し、教職員一人ひとりが敏感で寄り添う指導ができるよう資質の向上に努めるとともに、「いじめ防止基本方針」に則り組織的に取り組む。</p> <p>ウ・HR活動等における仲間づくりや、授業・行事で生徒が協同して取り組む活動を積極的に行うとともに、教職員・生徒ともに挨拶を励行する。</p> <p>エ・高等学校支援教育力充実事業支援教育サポート校として、府内の高等学校における「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する。</p> <p>(2) ア・様々な人権課題の中から人権研修を年間2回開催し研修の充実を図る</p> <p>イ・生徒一人ひとりの心身の状況把握に努めるとともに、教職員から生徒への声掛けなど生徒が気軽に相談しやすい関係の構築、全体で教育相談にあたる意識の醸成など、組織的な教育相談体制の充実に取り組む。</p>	<p>施 [2回]</p> <p>・「学校教育自己診断」(保護者)における「人権感覚を身につけている」肯定率90%以上 [93%]</p> <p>イ・学校教育自己診断における「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」の肯定率85%以上を維持 [90%]</p> <p>ウ・学校教育自己診断の「学校へ行くのが楽しい」肯定率90%以上 [92%]</p> <p>エ・要請を可能な限り承諾し、府内高等学校の支援教育力向上のため、他校教員も参加する情報交換会・研修会を3回以上実施する。[情報交換会5回、研修会3回]</p> <p>(2) ア・学校教育自己診断(教員)「人権教育の校内研修や学習会は充実している」肯定率82%以上 [85%]</p> <p>イ・学校教育自己診断の「担任以外で相談できる先生がいる」肯定率58%以上 [58%]</p>	<p>年生との交流会を実施した。(○)</p> <p>・「学校教育自己診断」(保護者)における肯定率は90%(○)</p> <p>イ・アンケートの実施や生徒への聞き取り等、組織的な対応を行い、学校教育自己診断「いじめ対応」の肯定率は93%であった。いじめ防止基本方針により年間計画通り委員会を開催し、情報共有を行っている。(◎)</p> <p>ウ・生徒主体の学校行事の実施など、充実した学校生活を送ることができるよう取り組んでいたが、「学校へ行くのが楽しい」肯定率は84%であった。(△)</p> <p>エ・高等学校支援教育力充実事業支援教育サポート校として、相談要請への対応、支援教育コーディネーター連絡会3回、府内自立支援推進校担当者連絡会2回、教職員研修(サポート校公開研修)3回を開催した。(○)</p> <p>(2) ア学校教育自己診断(教員)「人権教育の校内研修や学習会は充実している」肯定率は高い水準で維持している。90%(◎)</p> <p>イ・相談窓口の周知や教職員間の定期的な情報共有などにより、相談しやすい体制づくりを行ったことで、学校教育自己診断「担任以外で相談できる先生がいる」の肯定率は74%と向上(○)</p>
<p>2 安全で安心な学校づくり</p>	<p>(3) 生徒の規範意識の醸成</p> <p>(4) 通学路の安全確保、防災教育の充実と安全・安心な教育環境の確保</p> <p>(5) 働き方改革の推進</p>	<p>(3) ア・生徒指導、人権教育を両輪とした教員からの働きかけに加え、生徒自治会活動などを通じた生徒の取り組みも引き出し、安全安心な学習環境を維持する。</p> <p>イ・外部講師などによる講演を実施し情報モラル、交通ルール遵守の姿勢を育てるとともに、薬物乱用防止教育に取り組む。</p> <p>(4) ア・堺市建設局、地域自治会の協力を得て学校周辺の歩道整備を推進する。</p> <p>イ・緊急事態に対処できる実効性のある防犯計画、救急体制を確立するため、適宜点検・見直しを行うとともに、地域住民・警察等関係機関と連携した安全対策に取り組む。</p> <p>(5) ア・好事例を参考として、できることから着手するなど、「働き方改革委員会」で検討を進め、校務運営の効率化を推進する。</p> <p>イ・学校部活動に係る活動方針に基づき部活動時間を圧縮するため、部活動指導時間等の見直しを行い、教職員の長時間勤務を縮減する。</p>	<p>(3) ア・学校教育自己診断「生徒指導上のルール」を守っている肯定率93%以上 [96%]</p> <p>イ・外部講師による情報モラル(SNS含む)、交通安全、薬物乱用防止指導それぞれ1回実施する。[各1回]</p> <p>(4) ア・堺市建設局、地域自治会との協議を継続し、歩道整備を進める。</p> <p>イ・関係機関や地域と連携した実践的な防災避難訓練を年1回以上実施する。[2回]</p> <p>(5) ア、イ ・ICTの更なる活用による会議時間縮減とペーパーレス化、業務整理・改善、部活動指導時間等の見直しを進め、年間平均時間外在校等時間を前年度より5%縮減することをめざす。[R6・11月:35.9時間]</p>	<p>(3) ア・生徒との対話や人権を大切にした取り組み、生徒主体の自治活動などにより、学校教育自己診断「生徒指導上のルールを守っている」肯定率は高位安定98%(○)</p> <p>イ・情報モラル教育、交通安全教育、薬物乱用防止教育それぞれに、外部講師を招いて講習会を各1回実施した。(○)</p> <p>(4) ア・現状について地域自治会と情報共有を継続(○)</p> <p>イ・消防署にも協力を仰ぎ実施2回(○)地域とも共同、参加いただいている。</p> <p>(5) ア、イ ・職員会議や日々の業務連絡等におけるICT活用とペーパーレス化、時間外の外線への不在メッセージ対応、全校一斉定時退庁などの実施により業務負担の縮減を図り、時間外在校等時間の縮減に努めたが、同等数字で成果にはなっていない「R7 11月28時間」(◎)</p>
<p>3 夢の実現に</p>	<p>(1) キャリア教育の充実 ア 系統立てたキャリア教育の推</p>	<p>(1) ア・「産社」「志学」「総合的な探究の時間」「HR」等の系統立てた組み立てによりキャリア教育を一層充実させ、選択科目と希望進路の親和性を高めるとともに、適切な教育課程</p>	<p>(1) ア・学校教育自己診断における「将来の進路や、生き方について考える機会がある」肯定率90%以上の維持</p>	<p>(1) ア・学校教育自己診断における「将来の進路や、生き方について考える機会がある」肯定率の維持は行えている。(92%)(○)</p>

<p>チャレンジする積極的な生徒の育成</p>	<p>進、魅力ある教育活動</p> <p>イ インターシップの充実</p> <p>(2)</p> <p>ア 部活動の充実と学校行事への積極的な参加</p> <p>イ 生徒による学校行事等の自主運営</p> <p>(3)</p> <p>ア 学外活動への積極的な参加と地域連携</p>	<p>の編成、多様な経験や専門性を持った人材の活用や、地域・大学・企業等との連携の充実を図った魅力ある教育活動を展開し、自らの人生や新しい社会を切り拓く力を育成する。</p> <p>イ・保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等へのインターシップの継続</p> <p>(2)</p> <p>ア・「部活動に係る活動方針」、「部活動の適切な運営」に則り、部活動を充実・活性化すると同時に、各部の活動状況や成果についての情報・魅力発信を強化し、入部率の回復を図る。</p> <p>イ・体育祭生徒準備委員会を発足させ、実施競技や応援方法等の再検討を行うなど、「体育祭」「文化祭」「クラスマッチ」、「修学旅行」等の生徒が自主運営する行事の活性化を図り、生徒の主体的な活動を支えることで、自主性の伸長を図る。</p> <p>(3)</p> <p>ア・地域小学校との交流の継続</p> <p>イ・地域のイベントやボランティア活動への参加</p>	<p>[94%]</p> <p>・総合学科アンケートにおける『「夢チャレンジ」では、研究や発表など創意工夫ができる機会を持つことができた』の肯定率80%を維持[87%]</p> <p>イ・保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等へのインターシップ等を昨年度と同程度の回数実施する[14回]</p> <p>(2)</p> <p>ア・体罰ゼロを実現する。</p> <p>・クラブ紹介の充実やHP・ブログ等による活動状況等の情報・魅力発信を強化し、入部率を70%まで回復させる [66%]</p> <p>イ・「体育祭」「文化祭」の満足度をともに90%以上[体育祭92%、文化祭92%]</p> <p>・総合学科アンケート「自主性を伸ばすことが出来た」80%以上 [90%]</p> <p>(3)</p> <p>ア・地域小学校との授業交流を1回以上実施する [2回]</p> <p>イ・地域のボランティア活動を昨年度と同程度の回数実施する [120名]</p>	<p>・総合学科アンケートにおける『「夢チャレンジ」では、研究や発表など創意工夫ができる機会を持つことができた』の肯定率を高水準維持89%(◎)</p> <p>イ・老人介護施設はじめ、保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等での体験実習を含むインターシップについて、14回を実施することができた。(○)</p> <p>(2)</p> <p>ア・体罰は0(○)</p> <p>・今年度当初のクラブ紹介で魅力発信するなど入部率回復に努力した結果、全学年では65%であった(△)引き続き部活動の魅力発信を強化して、入部率の回復に努める。</p> <p>イ・体育祭、文化祭ともに生徒が主体的に企画・運営するよう準備した結果、体育祭、文化祭の満足度は89%であった。(○)</p> <p>・「自主性を伸ばすことが出来た」(総合学科アンケート)肯定率は90%で目標を達成した。(◎)</p> <p>(3)</p> <p>ア・福祉系選択科目で実施している障がい者の介助について、地域の小学校の総合的な学習の時間に合わせて交流を行い、高校生が小学生に教える取組みを2回継続している。(○)</p> <p>イ・ボランティア部による地域でのボランティア活動や運動部員等による地域イベントへの参加をはじめ、教職員も地域活動に参画し、継続的な交流を行っている。</p> <p>・地域のボランティア活動120名(○)</p>
<p>4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信</p>	<p>(1)</p> <p>ア ホームページ、連絡網等の活用</p> <p>(2)</p> <p>ア 学校説明会での情報発信</p> <p>(3)緊急時の連絡手段の構築と活用</p> <p>(4)マーケティング×ブランディング×プロモーションの法則に基づき、魅力向上を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・ホームページ、連絡網等を活用し学校の情報をタイムリーに保護者・生徒に提供してニーズに応えるとともに、地域社会に向けた効果的な広報活動の充実を図る。</p> <p>(2)</p> <p>ア・参加者のニーズをとらえた学校説明会、ミニ見学会を開催するとともに中学校等から依頼のある説明会に積極的に参加</p> <p>(3)</p> <p>ア 緊急時等における生徒・保護者・教職員の連絡手段の活用を図る</p> <p>(4)</p> <p>ア 魅力ある講座・探究内容について定期的：能動的に改善を検討する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・ホームページ、ブログ等の更新、連絡網によるタイムリーな情報発信により、学校教育自己診断(保護者)における「教育情報について、提供の努力をしている」肯定率85%以上[85%]</p> <p>(2)</p> <p>ア・生徒・保護者のニーズを把握するため、学校説明会等において、「説明のわかりやすさ」「学校に対する興味」などのアンケートを毎回実施する。</p> <p>(3)</p> <p>ア 具体的な手法を確立する。</p> <p>(4)</p> <p>ア 年に一度計画書を作成、FA委員会で検討、職員会議に提出する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・クラウドサービスおよび学年ブログを活用し生徒・保護者への確実で迅速な連絡を行っている。学校の特色と魅力発信のため、学校説明会は合同5回、単独は7回を実施。教育庁指定の「生徒が主導するSNSモデル校」に認定され公式SNSを開始し情報を提供した。保護者の学校教育自己診断における「教育情報について、提供の努力をしている」肯定率87%(○)</p> <p>(2)</p> <p>ア・体育祭、文化祭、日常の学校生活等それぞれの様子を紹介するコンテンツ(スライドショー等)を作成し、生徒の協力も得て、学校の様子がより良く伝わるよう魅力発信している。(○)10月オープンスクールのアンケートを毎回実施、募集戦略に生かしている。</p> <p>(3)</p> <p>ア クラウドサービス上でマニュアルを掲示、いざという時に適切に利用できる体制を整えた(○)</p> <p>(4)</p> <p>実施。今年度はDX指定校の目標である「情報Ⅱ」の講座を開講できることになった(○)</p>